

在宅ターミナルケア研究会

在宅での緩和ケアとは

関本雅子先生が講演

淡路支部ニュース

2011.10.25

No. 275



三十六人が参加し、質疑応答も活発に行われた

兵庫県保険医協会
淡路支部
〒650-0001 淡路市物部三丁目44
松本区院内
☎0799-2210041

Let's...

申し訳ないが、前号に続いて台風のお話。九月は上旬下旬に二度のノロノロ台風。十二号は今なお奈良県を中心に紀伊半島に「堰止湖」とい

う爪痕を残しており、十五号は東京にも混乱を来した。

わが家も平成十六年に一階が水没した時とコースが似ていたので、カルテ等を二階へ運んだ。幸い全く被害はなかったが、翌日、下へ降ろすのには緊張度より二倍半の時間を要した。加えて、変な祭日の配置で遂に六連休となつてしまった。幸い患者さんもおいでにならなかつたが、確かに地球に何か異変が起

こつている。三・一一の東北大地震、八月末の巨大ハリケーン、タイの大洪水、ロシアの火災、報道はないが中国

でも。私は以前より、地球の軸が曲がったのだと。

もう一つ暗いニュースは、山中教授のノーベル賞の件。周知の事実の如く、記者会見の椅子まで並べていて、その椅子を取り除く職員がノロノロ動作もさることながら、山中教授の心中は。マスコミの早トチリ？

一方、上を見ればキリがないと申しますが、九十七歳の女性報道写真家の動き。赤井TVキャスターとのTVを見て。体操の内村の三連覇は結構でした。落合さん(中日)も、イチローは残念だがやはり十年以上は。

例年、九月十月は観月会、敬老の日・彼岸・体育の日(今年はずバリ十日)、あの東京オリンピック開会式の青空！個人的にも、皆様方もご多忙？ 健康一番！

〔松本記〕

在宅ターミナルケア研究会

在宅ホスピスの現状学ぶ

淡路支部は十月十五日に洲本市文化体育館で、灘区・関本クリニックの関本雅子先生を講師に在宅ターミナルケア研究会「在宅末期がん患者における緩和ケア」を開催、医師や看護師、ケアマネージャーなど三十六人が参加した。

関本先生は、がんをめぐる日本の現状や県内のホスピス・緩和ケア病棟をはじめ、在宅ホスピスで可能な処置内容や緩和ケアで有用な鎮痛剤などを紹介した。

入院・在宅ホスピスそれぞれの問題点としては、集団生活の縛り、生活空間になじみがなく生活時間が病

院主導になる、入院費・室料差額など費用がかさむ(以上、入院型)、患者・家族共に孤立感が強い、家族の負担が大きく休養を取りにくい、四十歳未満のがん患者は介護保険を利用できず介護・医療ともに出費がかさむ(以上、在宅型)などをあげた。

関本先生は最後に「緩和ケアを実践する人へ」として、「患者さんとの出会いが自分を変えてくれる」「自分の無力さと限界を認めること、覚悟して患者さんに関わること」「医療者のための緩和ケアにならないで」などの言葉を紹介した。

台風十五号 淡路支部会員を見舞訪問

台風十二号に続き、十五号災害に対して協会は九月二十八日、被災した淡路支部の会員医療機関を訪問し、要望などを聞き取りした。特に被害の大きかった淡路市志筑

の会員などへ、被災程度に応じて見舞金を届けた。

電話やFAXなどで明らかになった淡路支部会員医療機関の被害状況は、床上浸水が九件、床下浸水が一件。

インターネットで保険医協会へアクセス!!



★情報満載! 兵庫県保険医協会ホームページ

<http://www.hhk.jp/>

★会員専用のメーリングリストを開設しております。登録いただける方は下記までお知らせください。

e-mail: hyogo-hok@doc-net.or.jp